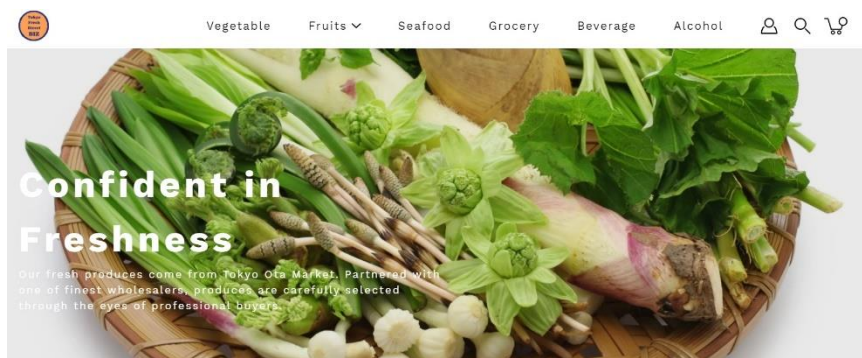


ウィアグリ シンガポール向け EC サイト

日本食材 150 品取り扱い

IT企業のテックファームホールディングス(東京都新宿区)のグループ会社で、農水産物流通ソリューションを手掛けるWe Agri(ウィアグリ、同中央区、岩藤健二社長)は3月16日、シンガポールのレストランや中小規模小売店専用の日本産食材電子商取引(EC)サイト「Tokyo Fresh Direct Biz」を開設した。東京・大田市場で仕入れた青果・鮮魚、加工品など約150品目を小ロットから購入でき、単独では幅広い日本産食材の輸入が困難な事業者も手軽に購入可能。2023年末までに売り上げ8億円を目標に掲げる。



シンガポールの業務筋向け EC サイトのトップページ

同サイトは英語版のみ提供。一部島しょ部を除くシンガポール国内全域を配送可能エリアとし、注文から5～8日程度で届ける。水産品は大田市場をメインに一部、宮城や千葉の取引先から仕入れて輸出するものもあるという。

同国向けには2020年9月に、一般消費者向けECサイト「Tokyo Fresh Direct」をスタート。青果・鮮魚・加工品・酒類など約400品目を取り扱い、個宅配送している。在留邦人の利便性を高めるため、日本語表示にも対応。食にこだわりのある富裕層を中心に利用が広がり、売り上げは想定通りに推移しているという。

同社はITを活用した農水産物流通プラットフォームを構築。産地から海外消費地へ一気通貫で流通させるモデルの確立の他、輸出業務に必要な英文貿易書類を自動生成し通関業者にデータ転送することで複雑な輸出手続きを簡素化するなど、流通の効率化に取り組み、国内・海外への卸売販路拡大を行ってきた。国内では百貨店やスーパーへの卸売に加え、20年4月末に青果直販ECサイト「大田市場直送. com」を立ち上げ。巣ごもり需要に応え、サービス開始時から毎月約3割ずつ成長しているという。

(2021年4月1日掲載みなど新聞より抜粋)